

一〇一年後に会いましょう

（ドラえもんへの手紙）

いざき あやの

はじめまして。わたしは、井崎英乃です。

ドラえもんと同じ、九月三日がおたん生日。

二〇〇二年に生まれ、今年九才になります。

ドラえもんは、後何年で生まれてきますか。

二一二年に生まれると聞きました。わたし

と一〇年ちがいたから、一〇からわた

しの年れいを引けば、ドラえもんが生まれる

までがわかりますね。一〇引く九は、一〇

一だから、一〇一年後にドラえもんが生まれ

てくるのですね。また、わたしの年れいに、

ドラえもんが生まれるまでを足すと一〇に

なります。ちょっとややこしいけど、これで

もう、わたしはわすれません。

ドラエもんが生まれる時、わたしは一〇

才。まだ元気になっているかな。ママのお母さ

んのお母さんは、今年九十五才。ママのお父

さんのお母さんは九十三才になります。二人

ともわすれんほだけど、とても元気になっています。わたしが、ひいおばあちゃんたちの年れいよりも、もっと年をとったところにドラえもんがたん生するのですね。とても、とても先の話ですが、未来の楽しみの一つです。

ドラえもんは、べんりですてきなポケットをもっていますね。わたしのママもふしぎなかばんをもっているの。ないし、だよ。

ママのかばんからは、今どつしてもほしいと思うものが出てくるの。ティッシュやハンカチ、くすりや体おん計。カメラやおやつなど。そんなに大きなかばんではないのに、どこに入っているのだろう。

この間も、妹と動物園であそんでいたら、転んで足をすりむいてしまったわだし、すぐにママがかばんをもって走ってきて……、かはんの中からしゅうどくえきやカクトバンが出てきて、あつという間に手当をしてくれよした。いたくてないでいたけど、ママのかば

んから、つぎつぎに色々なものが出てくるの
をわたしはちゃんと見ていました。すごいで
しょう。形はちがうけど、ドラえもんのポケ
ットみたいでしょう。
もう少し大きくなったら、ママのかばんを
おさがりにほしいな。わたしのものになっ
たら、いつかドラえもんにも見せてあげるね。
きくとびっくりすると思うよ。

一〇一年後。わたしたちの地きゅうや日本
はどんなっているのでしょうか。どのような毎
日をわたしはすごしているのでしょうか。これ
から生よれてくるドラえもんが、がっかりし
ないような未来。ドラえもんに自しんをもっ
てしょうかいできるような未来になるように。
わたしも、わたしに出来る何かをお手つだい
したいと思います。

一〇一年後に会いましょう。

一月二十六日

いざき あやの

ドラえもん様